

討論メモ

「22 世紀の資本主義」

令和 7 年 3 月 18 日

1. 今月は、児玉博嗣さんに、経済学者の成田悠輔氏の頭書名の著書を参考にして、
資本主義とは何か、
市場とは何か、
株とは何か、
を踏まえつつ、資本主義の未来について課題を提起いただきました。
2. 次いで出席者 8 名による自由な討論に入り、下記のような意見が出されました。
 - ・ 株式市場では、販売台数の少ないテスラの時価総額がトヨタを大きく宇和待っている。
 - ・ 装飾品の高級ブランド LVMH の時価総額もトヨタやソニーよりも大きい。
 - ・ 株価は、企業の現在価値よりも将来の伸びしろを反映しているのか？
 - ・ 株価は未来への期待値として、乱高下するビットコインの位置づけはどうなるのか？
 - ・ ビットコインは世界共通通貨の役割を果たしているのか？
 - ・ 送金の手続きは極めて簡単だ。
 - ・ 使用できるカジノもあるから、通貨の洗浄にも使える。
 - ・ 各国政府が発行を検討しているデジタルマネーとの位置づけは？
 - ・ 貨幣がすべてデジタル化されると、すべての売買が政府に把握され、プライバシーがなくなる。
 - ・ 脱税などを防止するメリットはあるが、自由がなくなる。
 - ・ 一物一価ではなくて、一物多価にして貧富で差をつける考えもある。
 - ・ 貧者のやる気がそがれるのではないか。
 - ・ 中東などの産油国では、働かない人が増えているようだ。
 - ・ 金がすべての価値観を変えるべきだ。
 - ・ 江戸時代など、金のない武士が尊敬を集めていた。

- ・ コメが急騰しているが、本当に足りないのか？投機のせいかな？
- ・ 減反政策は間違い、即刻、改めるべきだ。
- ・ 余れば輸出すればよい。
- ・ 供給過多で価格が下がれば、農家に補填すればよい。欧州はそれをしている。
- ・ 小麦もほとんど輸入だ。
- ・ 米国食料メジャーの圧力で、米も小麦も生産を減らされ、今や穀物自給率は 28% だ。米国と戦う覚悟がないと、この自殺的農業政策は改められない。

- ・ 平均年齢は 69 歳に達し、農村の高齢化が進んでいる。
- ・ 新規の就農者も生活苦から九割は転職してしまう。地方公務員並みの年収 6 百万ぐらゐは補償すべきだ。
- ・ 農業、農村に対する感謝と尊敬を社会全体が持つべきだ。
- ・ 米国の古い兵器を買う金を投入すれば、立派な農業改革が可能だ。
- ・ ただし、米国の巨大資本との戦いを覚悟する必要がある。

以上